

ごみ収集事業の民間委託状況

■ごみ収集に携わる市の直営職員及び委託従業員数、委託率

年度	直営職員		直営職員計	委託従業員		委託従業員計	委託人数計	民間委託率
	直営車	庸車		庸車	委託車			
2012 (平24)	186	146	332	73	162	235	41%	
2013 (平25)	180	134	314	67	183	250	44%	
2014 (平26)	180	120	300	60	204	264	47%	
2015 (平27)	180	100	280	50	234	284	50%	
2016 (平28)	180	78	258	39	267	306	54%	
2017 (平29)	180	72	252	36	276	312	55%	
2018 (平30)	180	60	240	30	294	324	57%	
2019 (令1)	180	50	230	25	306	331	59%	
2020 (令2)	180	26	206	13	342	355	63%	
2021 (令3)	180	26	206	13	342	355	63%	
2022 (令4)	177	10	187	5	369	374	67%	
2023 (令5)	177	0	177	0	384	384	68%	
2024 (令6)	165	0	165	0	390	390	70%	
2025 (令7)	156	0	156	0	399	399	71%	

同事業の委託率が高くなると、災害時のごみ処理などに影響が及びます。
京都市は、委託目標70%を掲げています。

まち美化事務所、クリーンセンターごとの直営（正規、再任用、会計年度任用職員ごと）、委託別職員数（令和6年度、令和7年度）

(1) まち美化事務所

(単位：人)

	東部		山科		南部		西部		西京		伏見		合計	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
直営職員数	78	76	57	53	74	71	66	69	51	49	58	55	384	373
正規職員	77	75	54	50	71	68	62	66	48	46	56	53	368	358
再任用職員	1	1	3	3	3	3	4	3	3	3	2	2	16	15
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託業務従事者数	120	120	51	54	54	54	72	72	45	48	48	51	390	399

※ 令和6年度は令和7年3月1日時点、令和7年度は令和7年9月1日時点。

※ エコまちステーションの職員を除く。

(2) クリーンセンター

(単位：人)

	南部クリーンセンター		東北部クリーンセンター		北部クリーンセンター		合計	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
直営職員数	73	82	77	50	19	20	169	152
正規職員	46	49	54	33	9	13	109	95
再任用職員	25	31	21	17	9	7	55	55
会計年度任用職員	2	2	2	0	1	0	5	2
委託業務従事者数 (運転監視業務等)	49	48	0	38	37	37	86	123

※ 令和6年度は令和7年3月1日時点、令和7年度は令和7年9月1日時点

※ 委託業務従事者数については、保守管理等の委託業者を除く。

環境政策局資料

(2) 環境政策局以外の活用事業（再掲）	54,000
森の力活性・利用対策 ～地球温暖化防止森林吸収源対策～（産業観光局）	52,000
住宅の省エネルギー化推進（都市計画局）	2,000
(3) 京都市民環境ファンドへの積立 最先端技術を活かした再生可能エネルギー分野などへの 中長期的な活用に向けた計画的な積立	70,000
有料指定袋制の実施に伴う財源（有料化財源）の活用額 合計 (1) + (2) + (3)	1,227,500
京都市民環境ファンド（有料化財源の積立分）の令和7年度 未残高見込	350,079
最先端技術を活かした再生可能エネルギー分野などへの 中長期的な活用に向けた計画的な積立分	350,000
指定袋製造経費の入札減等を次年度以降に活用するため の積立分	79

環境政策局資料

資源ごみ等の回収拠点数と回収量の推移

環境政策局資料より作成

年度	2010	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	(H22)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
リユース ビン	拠点数	127	151	157	162	164	162	157	157	155	151	147	143
	回収量(トン)	82	81	81	80	75	75	71	66	72	64	64	60
蛍光管	拠点数	294	104	112	124	128	130	130	130	130	127	125	123
	(協力店)	(233)	(233)	(234)	(242)	(233)	(272)	(254)	(264)	(259)	(236)	(233)	(227)
乾電池	拠点数	42	47	51	54	55	59	59	59	54	51	43	40
	回収量(トン)	131	331	336	347	352	348	346	350	344	340	338	336
紙パック	拠点数	67	85	89	95	98	110	111	137	123	147	122	149
	回収量(トン)	294	317	320	332	331	325	320	323	315	301	307	302
雑がみ	拠点数	87	59	55	54	49	42	41	44	42	41	36	36
	回収量(トン)	ニテイ回収含む→	ニテイ回収含む→	5,000	6,084	6,138	6,238	6,245	6,174	6,332	5,821	1,085	2,065
天ぷら油 (使用済み)	拠点数	1,577	1,759	1,806	1,871	1,895	1,776	1,694	1,628	1,748	1,691	1,691	1,645
	回収量(L)	193,172	192,842	176,412	182,770	188,289	175,135	166,970	161,800	147,458	130,065	122,990	118,534

プラスチック製品と缶・びん・ペットボトルの施設ごとの収集量及び再資源化量
(令和6年度)

(1) プラスチック類

(単位:トン)

	横大路学園	信和商事(株)
収集量	3,777	8,202
再資源化量	3,354	7,178
プラスチック製品	201	646
プラスチック製容器包装	3,153	6,532

※ プラスチック製品の再資源化量については、(公財)日本容器包装リサイクル協会(横大路学園処理分)及び京都市(信和商事(株)処理分)が実施した品質調査結果をもとに推計

(2) 缶・びん・ペットボトル

(単位:トン)

	南部資源 リサイクルセンター	北部資源 リサイクルセンター
収集量	5,716	6,512
再資源化量	4,626	5,194
スチール缶	405	504
アルミ缶	581	647
ペットボトル	1,666	1,427
ガラス(無色)	587	800
ガラス(茶色)	411	289
ガラス(その他の色)	320	503
ガラス(混色カレット)	656	1,024

※ 四捨五入の関係で各値と合計は一致しない。

環境政策局資料

コミュニティ回収による資源回収量の品目別回収量と行政区別、団体種別登録団体数（令和6年度）

(1) コミュニティ回収による資源回収量の品目別回収量（※1）

（単位：トン）

登録団体数 (団体)	古紙類					古着 類	缶	び ん	その他 (※3)	合計
	新聞	ダン ボール	雑がみ (※2)	紙 パック	小計					
2,818	5,731	3,300	4,405	6	13,442	648	98	84	50	14,321

※1 実績報告書未提出の団体があるため、回収量は暫定値（端数処理のため、合計は合わない。）

※2 雑がみには、雑誌・書籍を含む

※3 小型金属類など

(2) コミュニティ回収の行政区別団体種別登録数

（単位：団体）

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
自治会・町内会	92	214	157	196	109	96	85	48	203	86	292	1,578
共同住宅管理組合	46	68	101	158	20	56	73	47	96	25	131	821
地域の各種団体※	25	5	23	6	21	24	8	18	27	9	102	268
PTA、子ども会	2	2	7	3	0	2	1	10	15	12	24	78
共同住宅所有者 管理会社	12	12	11	8	1	2	4	7	8	0	8	73
合計	177	301	299	371	151	180	171	130	349	132	557	2,818

※ 地域の各種団体・・・地域女性会、すこやかクラブ、地域ごみ減量推進会議等

環境政策局資料

東部山間埋立地 「エコランド音羽の杜」の搬入状況

環境政策局資料より作成

年度		搬入量 (万トン)			フェニックス
		焼却残灰	不燃ごみ	計 (万トン)	残容量 (万 m^3)
2000年	(H12)	8.5	3.7	12.2	
2001年	(H13)	10.5	3.4	14.0	
2002年	(H14)	9.5	2.2	11.7	
2003年	(H15)	9.4	2.3	11.7	
2004年	(H16)	9.3	2.6	11.9	
2005年	(H17)	8.5	2.4	10.9	
2006年	(H18)	8.0	2.0	10.0	
2007年	(H19)	6.9	2.0	8.9	
2008年	(H20)	6.6	1.6	8.2	
2009年	(H21)	6.3	0.8	7.0	
2010年	(H22)	5.5	0.2	5.6	
2011年	(H23)	4.3	0.2	4.5	
2012年	(H24)	4.8	0.2	5.0	
2013年	(H25)	5.1	0.3	5.4	31.0
2014年	(H26)	4.8	0.3	5.1	30.0
2015年	(H27)	4.5	0.2	4.7	29.0
2016年	(H28)	4.3	0.2	4.5	29.0
2017年	(H29)	3.9	0.2	4.1	28.0
2018年	(H30)	4.0	0.3	4.3	27.0
2019年	(R1)	3.7	0.2	3.9	27.0
2020年	(R2)	2.8	0.2	3.0	25.0
2021年	(R3)	1.7	0.1	1.8	23.0
2022年	(R4)	1.4	0.1	1.5	21.0
2023年	(R5)	1.3	0.1	1.4	18.0
2024年	(R6)	1.1	0.1	1.2	16.0
合計		136.8	25.7	162.5	-

同施設の整備費は約523億円。2000年4月から埋立開始。

2010年度10月から産廃の受入れ廃止。

残余年数は、年間5.1万トンとして約50年。

埋立容量は350万 m^3 （覆土約100万 m^3 を除く）。残余容量214万 m^3

大阪湾処分場への搬入は、2022年3.1万トン。残容量は21万 m^3 。

フェニックスへの本市処分枠は当初22万 m^3 。H29年追加枠として24万 m^3 が認められた。

上記の残量は合計46万 m^3 に対応した数値。R14年度までに枠を使い切る計画。

本市におけるPFOS、PFOAの水質検査結果（令和4年度～令和6年度）
（単位：ng/L）

地点名	河川名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出町橋	鴨川	<4	4	4
三条大橋	鴨川	4	4	6
京川橋	鴨川	4	9	5
三宅橋	高野川	4	<4	<4
河合橋	高野川	4	5	6
寺田橋	弓削川	<4	<4	<4
梅津新橋	有栖川	5	6	6
西京極橋	天神川	9	13	9
落合橋	清滝川	<4	<4	<4
京都市・長岡京市境界点	小畑川	15	16	13

※ PFOS及びPFOAの合算値

※ ng（ナノグラム）は10億分の1グラム。4ng/L未満の数値については、「<4」と記載

※ 指針値（PFOS及びPFOAの合算値）：50ng/L

環境政策局資料より作成

自動販売機の設置届出台数（令和6年度、令和7年度）

（単位：台）

	令和6年度	令和7年度（7月末）
届出台数	19,775	19,780
新規台数	226	8

船井郡衛生管理組合管内の一般廃棄物受入量と負担金収入額について

期間	受入量 (トン)	負担金徴収額 (円)
令和5年4月～令和6年3月	5,473.38	175,148,160
令和6年4月～令和6年6月	1,417.98	45,375,360
令和7年4月～令和7年6月	1,430.39	47,202,870

脱炭素先行地域の取組進捗状況

(令和7年度)

引き続き脱炭素先行地域創出に係る推進体制の運営を行うとともに、脱炭素化に取り組む事業者等の支援を実施

- 文化遺産、商店街、住まい、グリーン人材育成拠点等への再エネ・省エネ設備等の導入支援 (受付期間：5月1日から12月26日までを予定)

(支援件数実績 令和5年度：7件 令和6年度：74件)

- 商店街における取組の伴走支援を強化するため、新たに伏見大手筋商店街内に専用の相談窓口を設置 (5月)

- 水垂埋立処分地跡地を活用した大規模太陽光発電事業の工事に着手 (6月) し、予定どおり進捗 (期間：令和8年2月までを予定)

環境政策局資料